

平成27年1月30日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

平成26年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)について
中川運河の水辺再生に取り組む
(一社)中川運河チャンネルアートの活動が選定されました!

今般、手づくり郷土賞選定委員会が開催され、全国各地から寄せられた43件の応募(一般部門:34件、大賞部門:9件)の中から優れた取組として一般部門15件、大賞部門4件が選定されました。そのうち中部地方整備局管内において寄せられた8件の応募(一般部門:5件、大賞部門:3件)の中から一般部門3件、大賞部門1件が選定されました。

当事務所管内からは、中川運河の水辺再生に取り組む(一社)中川運河チャンネルアートの活動が選定されました。受賞案件について認定証授与式が行われますのでお知らせいたします。

「手づくり郷土賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として昭和61年度に創設され、平成26年度で29回目の開催となります。

■平成26年度「手づくり郷土賞」選定結果(中部地方整備局管内)

〈一般部門〉

- 中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の創出) (愛知県名古屋市)
- 豊橋の路面電車(愛称「市電」)を活かしたまちづくり (愛知県豊橋市)
- 宮川流域エコミュージアム
(三重県伊勢市・多気町・明和町・大台町・玉城町・度会町・大紀町)

〈大賞部門〉

- 高校レストラン「まごの店」(三重県多気町)

1. 添付資料: [資料1](#) 中部地方整備局管内の受賞案件及び認定証授与式の日時・場所
[資料2](#) 中部地方整備局管内の受賞案件概要
[資料3](#) 平成26年度手づくり郷土賞について

2. 配布先：名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、
海事プレス

3. 問合せ先：（手づくり郷土賞全般について）

中部地方整備局企画部広域計画課 課長 中村 和輝
課長補佐 柴田 雅洋
直通TEL：052-953-8129

（中川運河チャンネルアート応募案件について）

名古屋港湾事務所企画調整課 課長 板生 考司
直通TEL：052-651-6763

<参考>

○本内容につきましては、国土交通本省・中部地方整備局においても本日付けで記者
発表を行っています。

○国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞^{ふるさと}」ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>

○認定証授与式の開催内容等の詳細については、後日、お知らせします。

中部地方整備局管内の受賞案件及び認定証授与式の日時・場所

■平成26年度 手づくり ^{ふるさと} 郷土賞（一般部門） 3件

受賞案件名	中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の創出)
所在地	愛知県名古屋市
受賞団体	一般社団法人 中川運河キャナルアート
認定証授与式	日時：平成27年3月5日（木） 10：00～ 会場：国土交通省中部地方整備局 丸の内庁舎 住所：名古屋市中区丸の内二丁目1番36号

受賞案件名	^{とよはし} 豊橋の路面電車（愛称「市電」）を活かしたまちづくり
所在地	愛知県豊橋市
受賞団体	とよはし市電を愛する会 豊橋鉄道株式会社
認定証授与式	日時：平成27年2月26日（木） 11：00～ 会場：豊橋市役所 住所：愛知県豊橋市今橋町1

受賞案件名	^{みやかわ} 宮川流域エコミュージアム
所在地	三重県伊勢市・多気町・明和町・大台町・玉城町・度会町・大紀町
受賞団体	宮川流域案内人の会 伊勢市・多気町・明和町・大台町・玉城町・度会町・大紀町
認定証授与式	日時：平成27年3月8日（日） 10：00～ 会場：玉城町保健福祉会館 住所：三重県度会郡玉城町勝田4876-1

■平成26年度 手づくり ^{ふるさと}郷土賞（大賞部門） 1件

受賞案件名	高校生レストラン「まごの店」
所在地	三重県多気郡多気町五桂956番地
受賞団体	三重県立相可 ^{おうか} 高等学校 調理クラブ 多気町
認定証授与式	日時：平成27年2月28日（土） 10：30～ 会場：まごの店（五桂池 ^{ごかつらいけ} ふるさと村内） 住所：三重県多気郡多気町五桂956番地

平成26年度 手づくり郷土賞（一般部門） [全3選]

中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の創出)

(愛知県・名古屋市)

水運物流の中心として栄えた中川運河を再生するために、運河周辺の水辺空間を活用したアートイベントを年に2～4日間開催。また、平成21年から近隣住民との協力による運河周辺の清掃活動(年に2回)や運河沿いにコスモスの植栽を行うコスモスプロジェクトを実施し、中川運河の魅力創出に向け継続的な取組を行っています。さらに小中学校でのアートワークショップの開催により、次世代を担う学生たちに豊かな感性を育む取組を継続的に発展させています。地元主体で水辺の空間を取り戻す活動の先駆的存在となっています。



豊橋の路面電車(愛称「市電」)を活かしたまちづくり

(愛知県・豊橋市)

とよはし市電を愛する会は、市電に関心を持つ市民などが「市電を活かしたまちづくり」のテーマのもとに平成2年に設立。路面電車の利用者が減少する中、交通事業者と行政を繋ぐ役割を担ってきました。中心市街地における新電停設置の要望活動を約10年間、地元商店街とともに行い実現、また、LRV(全面低床電車)導入に向けた募金活動にも貢献しました。4月10日を「市電の日」として趣向を凝らしたイベントを毎年開催しているほか、「市電のある風景」を刷り込んだカレンダーや絵ハガキの作製、機関誌「市電文化」の発行など、多彩な活動を展開しています。



宮川流域エコミュージアム

(三重県・伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町)

宮川流域案内人の会は、宮川を中心とした流域全体の自然、歴史、文化、産業を活用して年間80回ほどの行事を企画運営、また散策路の整備や道標の設置、ゴミ拾いなどの環境整備も実施しています。行事への参加者は平成18年には1679人、平成25年には3832人と年々増加し、リピーターも増え地域の活性化に繋がっています。案内人として現在316名が登録。案内人の学習会や全国大会への参加など活動のレベルアップが図られています。宮川流域全体で連携した大規模な取組により、流域全体の活性化に繋がっています。



高校レストラン「まごの店」

(三重県・多気町)

相可高校調理クラブは「即戦力となる料理人育成」を目的に活動。多気町、ふるさと村がこの活動を支援し、研修施設として、全国で初となる高校生レストラン「まごの店」が誕生。食材費や日常管理費、仕入れ等全ての運営を調理クラブで実施しています。食材は地産地消を基本とし、地域の活性化に繋がっています。また、イベント出店、料理教室の開催、企業とのコラボ商品開発等の活躍により知名度が上がり、ふるさと村は毎年25万人が訪れる観光拠点となっています。「まごの店」は料理人を目指す子供たちの目標となっています。



【平成18年度 手づくり郷土賞(地域整備部門)受賞】

平成26年度 手づくり郷土賞

目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

募集対象

手づくり郷土賞(大賞部門)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫

(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性

(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)

③地域づくりへの成果及び波及効果

(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)

④今後の活動の継続性・発展性

(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫

(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性

(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)

③地域づくりへの成果及び波及効果

(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)

④今後の活動の継続性・発展性

(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

⑦社会資本の地域への定着状況

(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)

⑧活動の継続状況

(規模を広げながら着実に継続している等)

⑨活動の発展状況

(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募することができます。

選定委員会

委員長： 齋藤 潮	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授
荻原 礼子	結 まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー
佐々木 葉	早稲田大学創造理工学部 教授
鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
関 幸子	株式会社ローカルファースト 代表取締役
田中 里沙	株式会社宣伝会議 取締役 編集室長
森反 章夫	東京経済大学現代法学部 教授/災害復興研究所 所長
瀧口 敬二	国土交通省総合政策局長

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>)